

I 市町立小中学校等

1 学校建物

(1) 学校数

平成24年度以降における学校数の推移は、表1のとおりである。

小学校数、中学校ともに、平成8年度以降減少しているが、これは児童数の減少に伴い、適正規模にするための学校の統廃合が行われているためである。

平成29年度は、新たに小山市と那須塩原市に義務教育学校が設置された。

表1 学校数の推移

(校)

区 分		年 度							
		24	25	26	27	28	29	30	
小 学 校		391 (0)	386 (△5)	378 (△8)	377 (△1)	373 (△4)	367 (△6)	361 (△6)	
中 学 校		164 (△1)	165 (1)	165 (0)	163 (△2)	162 (△1)	157 (△5)	156 (△1)	
義務教育学校		—	—	—	—	—	2 (2)	2 (0)	
計		555 (△1)	551 (△4)	543 (△8)	540 (△3)	535 (△5)	526 (△9)	519 (△7)	
増 減 内 訳	小 学 校	設 置	0	0	0	0	2	0	0
		廃 止	0	6	8	1	6	6	6
	中 学 校	設 置	0	1	0	0	0	1	0
		廃 止	1	0	0	2	1	6	1
	学 務 教 育 校	設 置	—	—	—	—	—	2	0
		廃 止	—	—	—	—	—	0	0

※ 中学校の学校数には県立中学校分を含む。

(2) 児童・生徒数

平成24年度以降における児童・生徒数の推移は、図1のとおりである。

児童数については、昭和57年度(187,709人)をピークに年々減少しており、生徒数についても昭和58年度以降、急増傾向にあったが、昭和62年度(96,569人)をピークに減少を続けている。